



嬉 舞

しさに
我はここにて
遊ぶ

令和7年11月15日(土)

岩戸下永之内
神楽祭



岩戸下永之内 神楽祭 番付

令和7年11月15日(土)



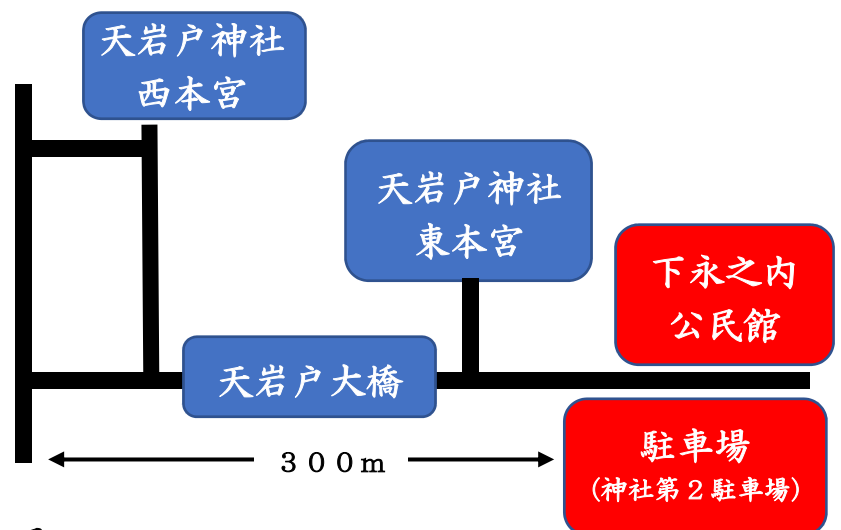
9:30 神事(天岩戸神社東本宮)

10:00 神楽(下永之内公民館)

- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 神降 | 6. 酒こし | 11. 柴引 | 16. 舞開 |
| 2. 鎮守 | 7. 置絵 | 12. 伊勢 | 17. 緑下 |
| 3. 杉登 | 8. 八鉢 | 13. 手力 | 18. 雲下 |
| 4. 地固 | 9. 七奇神 | 14. 鈿女 | |
| 5. 袖花 | 10. 山森 | 15. 戸取 | ※番付は予定 |
- ※岩戸五番は15時頃から

16:30 片付け・直会(参加者による打上げ)

※観光の方は、
自由にご見学下さい。
天岩戸神社第2駐車場を
ご利用ください。



岩戸下永之内神楽祭開催にあたって

高千穂岩戸神楽は平安時代まで時代を遡るとされていますが、五穀豊穰、子孫繁栄、安全祈願など、極々普通の村祭りとして、私たちの暮らしの中にありました。

岩戸下永之内地区では、平成22年の公民館新築工事に伴い、夜神楽が復活し、その後10年間夜神楽を催行してきましたが、過疎化や高齢化により負担の掛かる夜神楽を行うことが厳しい現実があります。

そこで、私たち下永之内地区は、永年伝承されてきた神楽を絶やさず後世に伝えていくことを目的に、夜を徹して行う夜神楽ではなく、日中に行う祭りとして開催しています。特徴ある番手を舞いますので、楽しんで見ていただきますと幸いです。

神楽歌「嬉しさに我はここにて舞遊ぶ 妻戸も開けて御簾も降ろさず」

「よろず代の天岩戸の神かぐら 面白かれや末はめでたし」

解釈(いつの時代も祭りが出来る。楽しいし将来も安泰だ)

下永之内公民館・下永之内神楽保存会

